

# FX NEWS PRESS

January 2019 No.145

2019年1月4日発行  
エフエックス  
ニュースプレス1月号

発行・編修  
カネツFX証券  
コンサルティング部  
Tel : 03-6861-8181

# 1



●注目銘柄 p3

## 米ドル円

波乱の年末年始  
流動性回復後の巻き戻しなるか？

●FX・CFDセミナー情報

### 藤田茂の為替相場を斬る

【東京】	1/10(木) 13:00~	東京金融取引所プラザ
【東京】	1/15(火) 13:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	1/17(木) 13:00~	神戸国際会館
【大阪】	1/18(金) 13:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	1/19(土) 12:00~	カネツ商事関西支店

### 藤田茂の実況ライブセミナー

【神戸】	1/17(木) 12:00~	神戸国際会館
【大阪】	1/18(金) 12:00~	カネツ商事関西支店

### FX・日経225投資セミナー

【東京】	1/7(火) 17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	1/10(木) 11:00~	東京金融取引所プラザ
【久留米】	1/11(金) 13:30~	久留米シティプラザ
【熊本】	1/12(土) 10:00~	熊本市国際交流会館
【東京】	1/15(火) 11:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	1/17(木) 10:00~	神戸国際会館
【大阪】	1/18(金) 10:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	1/19(土) 10:00~	カネツ商事関西支店
【東京】	1/22(火) 17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	1/30(水) 17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	1/31(木) 13:00~	東京金融取引所プラザ

➤ 詳しくはホームページをご覧ください ◀

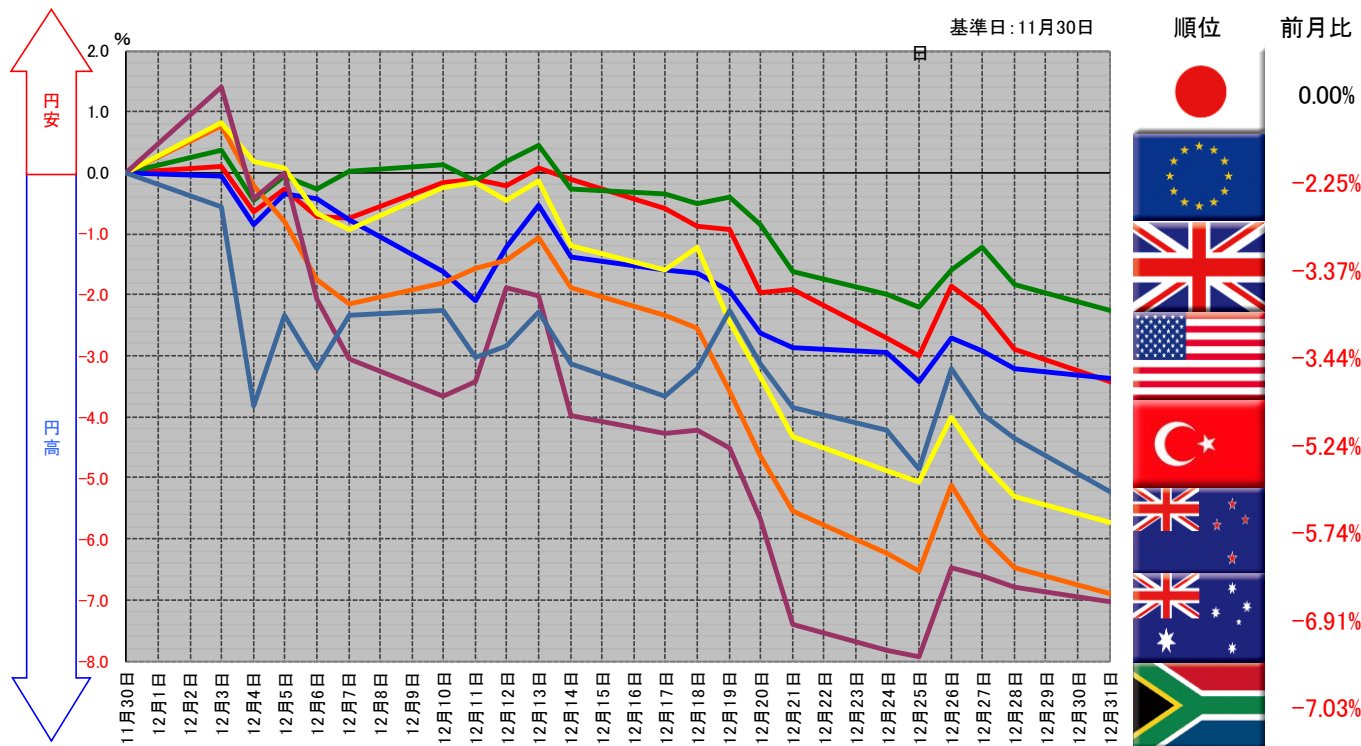
 カネツFX証券

[www.kanetsufx.co.jp](http://www.kanetsufx.co.jp)

カネツFX証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]  
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値: 113.5)	ユーロ円 (基準値: 128.505)	ポンド円 (基準値: 144.64)
豪ドル円 (基準値: 82.95)	NZドル円 (基準値: 78.03)	ランド円 (基準値: 8.185)
トルコ円 (基準値: 21.77)		

12月31日時点評価



### 12月3日 米中貿易戦争の一時休戦を好感

週末の米中首脳会談では、一時的ながら新たな関税を見送ることに合意。目的的な貿易戦争の悪化懸念が後退したことを背景にリスク選好の動きが目立つ展開となった。

株価の上昇を眺めながら米ドル円は底堅く推移し、一時12月高値となる113円73銭まで上伸したほか、ユーロ円も月間の高値圏となり129円台前半まで上昇。

### 12月4日 米長短金利の逆転を警戒

米主要株価3指数が揃って大幅下落。米長短金利の逆転(逆イールド)への警戒感が強まりをみせた。3日に米3年債と同5年債の利回りが逆転していたが、この日もその状態が継続。より期間が長い国債の利回りが短期の国債利回りを下回るのは金融危機の2007年以来初めてのことで、米経済成長の鈍化、ひいては米景気の後退局面入りへの懸念が強まりをみせることとなった。

この日で、3年/5年および2年/5年が逆イールド化しているが、この動きが今後2年/10年にも波及するかに注目が集まる。こうした流れを受け外為市場では円買いの動きが加速。

米ドル円は一時112円台半ばまで下落したほか、ユーロ円も一時127円台半ばを示現。

### 12月6日 ファーウェイCFO逮捕受けドル下落

翌日の米雇用統計待ちで様子見ムードが広がる環境の中、中国通信機器大手ファーウェイの孟晩舟最高財務責任者(CFO)がカナダで逮捕されたとのニュースを受け、米中貿易摩擦への懸念が再燃することに。CFOの逮捕はカナダ当局によるものだが、その背景には、米トランプ政権の意向が強く働いているものとみられ、中国側の報復への懸念も意識されることに。

先行きに対する不安から米ドル円は下落し一時112円20銭まで円高が進行した。

### 12月7日 11月米雇用統計

米労働省が発表した11月の雇用統計は、非農業部門の雇用者数が15万5000人増と前月の23万7000人(改定値)から鈍化し、市場予想の20万人増を下回った。時間当たり平均賃金の伸びは前月比0.2%と前月の0.1%から拡大したものの、予想の0.3%に届かず。ただ失業率は3.7%となり、相変わらずの低水準を維持していることが確認された。これは、49年ぶりの低さとなった。

全体としては、市場予想を下回ったとの評価が大勢となっており、米経済成長の鈍化を意識。FRBによる利上げが従来想定より早く打ち止めになるとの懸念が広がりをみせた。12月18~19日のFOMCで追加利上げが実施されることに変更はないとみられているが、2019年の利上げ期待は低下傾向を示す展開に。

### 12月10日 英、ブレグジットの議会採決延期を決定

英国のメイ首相が、11日に予定していたEU離脱(ブレグジット)案の議会採決を延期すると発表したことで、英ポンドが大幅下落。一時1年8カ月ぶりの安値に沈む場面がみられた。英国とEUが11月に合意した協定案は英国内での反発が強く、大差で否決されるのは不可避との見方が強い。協定案は、英国が将来にわたりEUルールに縛られる可能性を残す内容で、英国では強硬離脱派が反発。英議会在承認しなければ、合意なしの「無秩序離脱」に陥り、英、EU双方で経済活動に混乱が生じる恐れがあるとみられる。

### 12月19日 FOMC

FRBはFOMCでFF金利の誘導目標を0.25%引き上げることを選定した。ただし、2019年の利上げ回数見直しは2回とし、9月に示した3回から引き下げた。この決定を受けドルは軟化し、米ドル円は一時112円08銭まで下落した。

### 12月20日 米景気減速懸念が台頭

昨日に引き続きFRBが示した2019年以降の利上げ見通しを材料視する格好で、リスク回避の流れ加速することとなった。前日のFOMCで、大方の予想通り追加利上げを決定。2019年の利上げ想定回数を2回に下方修正したが、市場が考えているほど利上げに消極姿勢を示さなかったことで景気減速への懸念が台頭し、投資家のリスク回避姿勢が急速に強まることとなった。

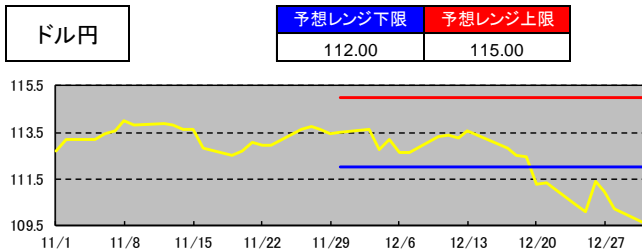
米ドルが全面安となる中、米ドル円は一時110円80銭まで下落した。

### 12月21日 米政府機関閉鎖への懸念が圧迫

この日トランプ米大統領がメキシコ国境の壁建設費用50億ドルを盛り込んだつなぎ予算案が上院で承認される可能性は低く、連邦政府機関が閉鎖に追い込まれる公算が大きいとの見通しを示した。さらに、同大統領は連邦政府を「長期間にわたり」閉鎖することも辞さないとの姿勢を示し、このところのリスク回避の動きがさらに強まりをみせることに。米主要株価が軒並み大幅下落となる中で、米ドル円は111円を挟んでの動きとなったほか、ユーロ円は一時126円30銭台まで売り込まれた。

### 12月26日 NYダウが1000ドル超の急反発

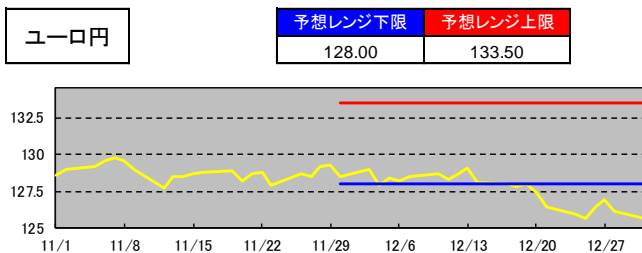
クリスマス休暇が明け、米主要株価指数が急反発。世界的な景気減速懸念がくすぶる状況の中、売られ過ぎとの見方が強まりをみせた。ダウ工業株30種は史上初めて1000ドル超の上昇をみせて取引を終了。調整局面が終了したと想定することは到底難しい環境が続いているが、一部では、一時的な安定を回復するとの声も聞かれた模様。円相場も買い先行の流れが一服し、米ドル円は110円台前半どころから111円台半ばまで円安が進行。ユーロ円は125円台半ばから126円台半ばまで地合いを回復する動きをみせた。



押し目買い方針 評価【×】

コメント

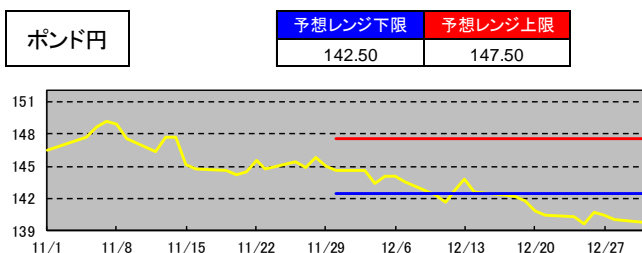
予想レンジの下方推移後、レンジ下限を下抜ける格好となった。



逆張り方針 評価【×】

コメント

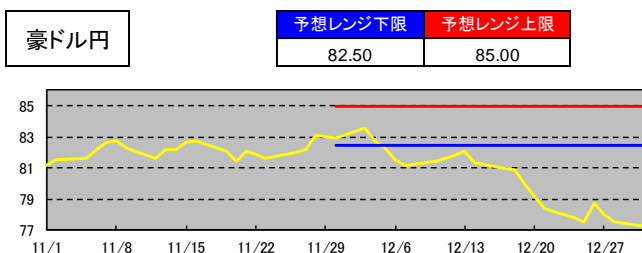
予想レンジ下限付近で推移後、レンジ下限を下抜ける格好となった。



戻り売り方針 評価【×】

コメント

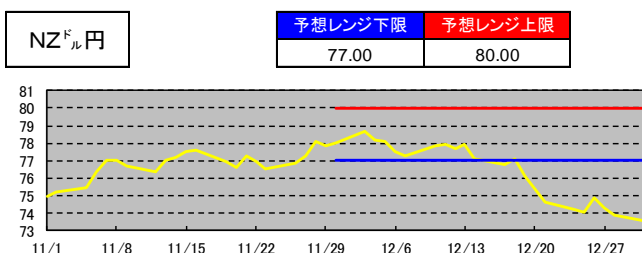
予想レンジ下限付近で推移後、レンジ下限を下抜ける格好となった。



押し目買い方針 評価【×】

コメント

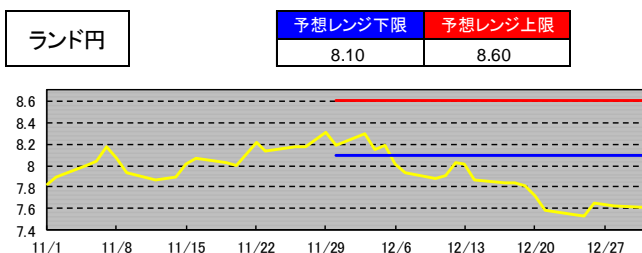
予想レンジ下限を下抜けた後、下値模索の推移となった。



押し目買い方針 評価【×】

コメント

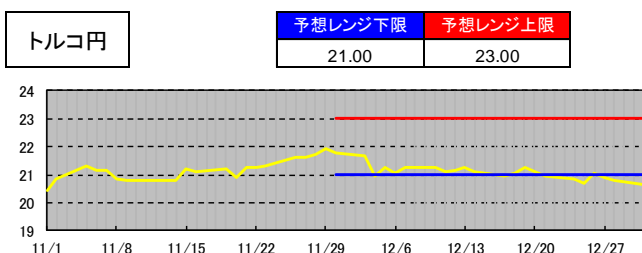
予想レンジの下方推移後、レンジ下限を下抜ける格好となった。



押し目買い方針 評価【×】

コメント

予想レンジ下限を下抜けた後、下値模索の推移となった。



逆張り方針 評価【△】

コメント

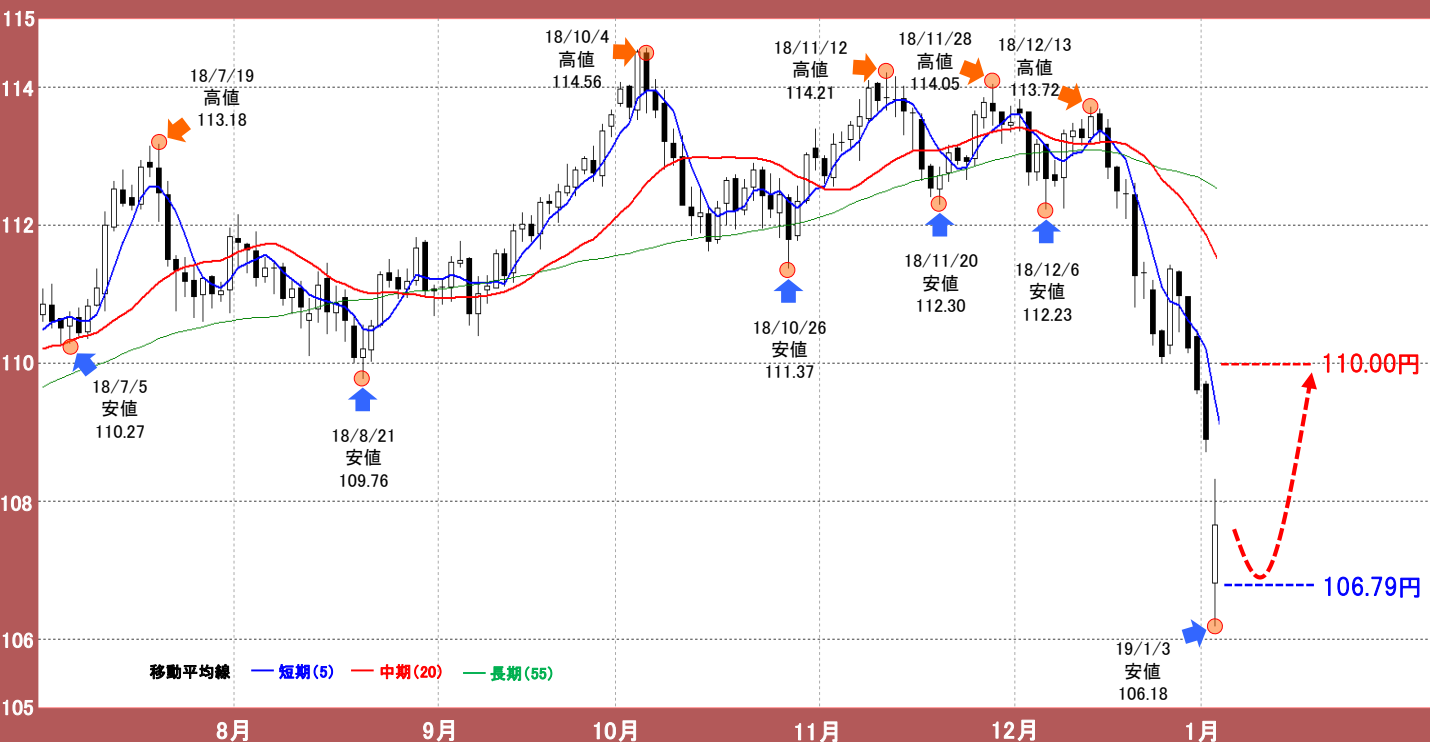
レンジ下限を中心に揉み合いの推移となった。

# 米ドル/円 【押し目買い方針】

予想レンジ  
 ↑ 110.00円  
 ↓ 107.00円



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



**メインシナリオ 70%**

実線は、12/13高値113.72を示現後、ピッチを速めながら下値を模索する展開となっています。直近で心理的な節目となる110円を大きく下抜け、短期、中期、さらには長期移動平均線がそれぞれ下向きで推移しており、下値警戒の強まりやすい点には留意が必要です。しかし、長期休暇が明けて急ピッチでの下落への反動が想定され、流動性の回復とともに行き過ぎを訂正する動きに期待したいところです。下値の目途は異様に売買が集中した1/3寄付106.79付近と考え、一方で上値は節目110.00付近を予想します。

**リスクシナリオ 30%**

下値目途として予想した106.79を下抜けた場合で、その際は下方の心理的節目となる105.00付近が視野に入りそうです。

## ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

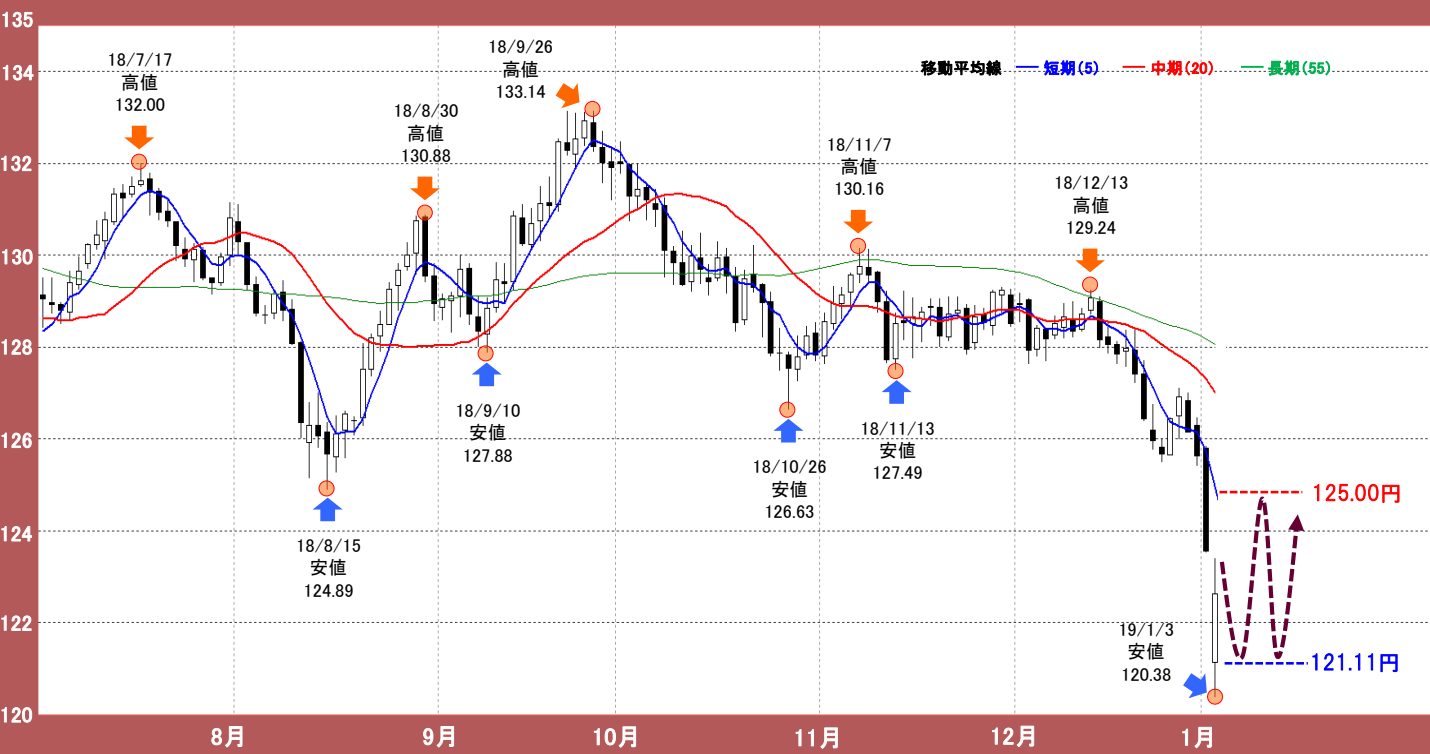
発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/4 0:00	12月ISM製造業景況指数	↑	59.3	★
1/4 22:30	12月非農業部門雇用者数変化	—	15.5万人	★★★★
1/8 0:00	12月ISM非製造業指数	↑	60.7	★
1/11 22:30	12月消費者物価指数(前年比)	↑	2.2%	★★★★
1/15 22:30	12月生産者物価指数(前年比)	↑	2.5%	★
1/16 22:30	12月小売売上高(前月比)【速報】	—	0.2%	★
1/30 22:15	1月ADP雇用統計	—	—	★★
1/30 22:30	第4四半期GDP(年率/前期比)【速報】	↑	3.4%	★★★★
1/31 4:00	FOMC政策金利	—	2.25%-2.50%	★★★★
1/31 22:30	12月PCEコアデフレター(前年比)	—	1.9%	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)





[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



## メインシナリオ 70%

実線は、短期、中期、長期移動平均線がそれぞれ下向きで推移しており、下値不安の強さが見て取れます。一方、1/2～3に窓を開けての下落を演じたことによる行き過ぎ感も意識されるところで、売り買いが交錯し方向感の見出しにくい揉み合いの展開が予想されます。下値の目途は異様に売買が集中した1/3寄付121.11付近と考え、心理的節目である125.00付近を高値とするレンジ往來の推移を予想します。

## リスクシナリオ 30%

下値サポートとして予想した121.11付近を下抜けた場合は、心理的節目となる120.00付近、上値125.00付近を上抜けた場合は、12/27高値127.12付近を予想します。

### ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/4 19:00	11月生産者物価指数(前年比)	—	4.9%	★
1/4 19:00	12月消費者物価指数【速報】(前年比)	—	2.0%	★★★
1/7 19:00	11月小売売上高(前年比)	—	1.7%	★
1/9 19:00	11月失業率	—	8.1%	★★
1/17 19:00	12月消費者物価指数【確報】(前年比)	—	1.9%	★★
1/22 19:00	1月ZEW景気期待指数	—	-21	★★
1/24 18:00	1月製造業PMI【速報】	—	—	★
1/24 21:45	ECB政策金利	—	0.0%	★★★★
1/31 19:00	12月失業率	—	—	★★
1/31 19:00	第4四半期GDP(前年比)【速報】	—	1.6%	★★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

# ポンド/円 【押し目買い方針】

予想レンジ  
 ↑ 140.50円  
 ↓ 135.00円



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



## メインシナリオ 70%

実線は、11/8高値149.50を示現後下落基調が続いています。直近で心理的な節目となる140円を大きく下抜け、下値警戒の強まりやすい点には留意が必要です。しかし、休暇明けの流動性回復とともに行き過ぎを訂正する動き、急ピッチでの下落を受けた巻き戻しに期待したいところです。下値目途を心理的節目である135.00付近と考え、一方で上値は、1/3安値(131.89)を当面の下値とした場合で11/8(149.50)からの下落幅の半値戻しにあたる140.70近辺を予想します。

## リスクシナリオ 30%

下値目途として予想した135.00を下抜けた場合で、その際は1/3安値131.89付近を予想します。

### ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/4 19:00	11月生産者物価指数(前年比)	—	4.9%	★
1/4 19:00	12月消費者物価指数【速報】(前年比)	—	2.0%	★★★
1/7 19:00	11月小売売上高(前年比)	—	1.7%	★
1/9 19:00	11月失業率	—	8.1%	★★
1/17 19:00	12月消費者物価指数【確報】(前年比)	—	1.9%	★★
1/22 19:00	1月ZEW景気期待指数	—	-21	★
1/24 18:00	1月製造業PMI【速報】	—	—	★
1/24 21:45	ECB政策金利	—	0.0%	★★★
1/31 19:00	12月失業率	—	—	★★
1/31 19:00	第4四半期GDP(前年比)【速報】	—	1.6%	★★★

<相場の格言>群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



メインシナリオ 70%

実線は、12/3高値83.91を示現後、急ピッチで下値を模索する展開がみられました。直近では、短期、中期、さらに長期移動平均線がそれぞれ下向きで推移しており、下値警戒の強まりやすい点には留意が必要です。しかし、1/3に下方に大きな窓を開けて取引開始後、同日中に窓埋めを完了させるなど、反動高を想定するような上値志向がみられ、行き過ぎを訂正する動きに期待したいところです。下値目途を異様に売買が集中した1/3寄り73.77付近と考え、と考え、上値は12/27高値78.74付近を予想します。

リスクシナリオ 30%

下値目途として予想した73.77を下抜けた場合で、その際は1/3安値72.36が予想されます。

## ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/8 9:30	11月貿易収支		23.16億AUD	★★
1/9 9:30	11月住宅建設許可件数(前月比)	▲	-1.5%	★
1/9 9:30	11月住宅建設許可件数(前年比)	▲	-13.4%	★
1/11 9:30	11月小売売上高(前月比)	▲	0.3%	★★
1/24 9:30	12月雇用者数変化		3.7万人	★★★★
1/24 9:30	12月失業率	▲	5.1%	★★
1/30 9:30	第4四半期消費者物価指数(前期比)	▲	0.4%	★★★★
1/30 9:30	第4四半期消費者物価指数(前年比)	▲	1.9%	★★★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



## メインシナリオ 70%

実線は、12/4高値78.88を示現後、急ピッチで下値を模索する展開がみられました。直近では、短期、中期、さらに長期移動平均線がそれぞれ下向きで推移しており、下値警戒の強まりやすい点には留意が必要です。しかし、1/3に下方に大きな窓を開けて取引開始後、同日中に窓埋めを完了させるなど、反動高を想定するような上値志向がみられ、行き過ぎを訂正する動きに期待したいところです。下値目途を異様に売買が集中した1/3寄付70.80付近と考え、上値は12/27高値75.00付近を予想します。

## リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した70.80を下抜けた場合で、その際は1/3安値69.74付近まで視野に入りそうです。

### ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/11 6:45	11月住宅建設許可(前月比)	—	1.5%	★
1/23 6:45	第4四半期消費者物価指数(前期比)	—	0.9%	★★★★
1/23 6:45	第4四半期消費者物価指数(前年比)	—	1.9%	★★★★
1/29 6:45	12月貿易収支	—	-8.61億NZD	★★
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

<相場の格言> 遇と不遇は時なり(相場で儲かっているのも損しているのも単なる時の違いにすぎない。)





[日足] 2018年7月1日～2019年12月3日



## メインシナリオ 70%

実線は、12/3高値8.360を示現後、上値の重い展開となっています。短期、中期、長期移動平均線がそれぞれ下向きで推移しており、下値不安の強さが見取れます。一方、1/3の急落を過ぎるとする見方が意識されそうで、売り買いが交錯し方向感の見出しにくい揉み合いの展開が予想されます。下値目途を異様に売買が集中した1/3寄り7.310付近と考え、上値は12/27高値7.855付近とし、レンジ往來の推移を予想します。

## リスクシナリオ 30%

下値サポートとして予想した7.310付近を下抜けた場合は、8/13安値6.960付近、上値の目途とした7.855付近を上抜けた場合は、12/13高値8.075付近を予想します。

### ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
1/4 22:30	カナダ	12月失業率	▲	5.6%	★★
1/10 0:00	カナダ	カナダ中銀政策金	▲	1.75%	★★★★
1/10 15:45	スイス	12月失業率	▲	2.5%	★★
1/17 0:00	南アフリカ	南アフリカ中銀政策金利	▲	6.75%	★★★★
1/23 0:00	日本	日銀金融政策決定会合	▲	-0.10%	★★
1/31 22:30	カナダ	11月GDP(前年比)	▲	2.2%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



## メインシナリオ 70%

実線は、12/3高値22.08を示現後、上値の重い展開となっています。しかし、1/3ローソク足が示す通り長い下ヒゲの伴う急速な切り返しの動きが確認され、下落の行き過ぎを是正する動きが期待される状況と考えます。下値の目途は異様に売買が集中した1/3寄り付19.44付近と考え、上値を、12/4に実線の下抜け以降上値抵抗ラインとして作用している中期移動平均線が1/3現在位置する20.86付近とみています。

## リスクシナリオ 30%

下値サポートとして予想した19.44を下抜けた場合で、その際は1/3安値18.02付近が視野に入りそうです。

### ◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/16 20:00	トルコ中銀政策金利		24.0%	★★★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

# ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ  
 ↑ 1.1500  
 ↓ 1.1200



[日足] 2018年7月1日～2019年1月3日



**メインシナリオ 70%**

実線は、狭いレンジ内の往來に推移しています。短期、中期、長期移動平均線がそれぞれ実線の推移レンジ内に収束しつつあり、方向感が見出しにくくレンジ相場を継続する可能性が考えられます。その際は、11/7、12/20および1/2と、たびたび跳ね返された心理的な節目である1.1500をレジスタンスとし、一方で、サポートは11/12安値1.1220付近と考えます。

**リスクシナリオ 30%**

11/12安値1.1220を下抜けた場合で、その際は心理的な節目で大台1.1000付近が視野に入りそうです。

## ② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	NZ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
18年	1月	1,804円	-189円	993円	1,499円	1,424円	5,615円	3,043円	-27.00ドル
	2月	1,502円	-239円	705円	1,212円	1,274円	4,908円	2,656円	-24.00ドル
	3月	1,516円	-238円	590円	1,137円	1,237円	5,221円	2,680円	-26.00ドル
	4月	2,049円	-200円	857円	1,542円	1,441円	5,631円	2,975円	-26.00ドル
	5月	1,923円	-105円	701円	1,272円	1,306円	4,662円	2,604円	-28.00ドル
	6月	2,177円	-58円	785円	1,460円	1,255円	4,422円	3,160円	-23.00ドル
	7月	2,083円	-169円	657円	1,334円	1,287円	4,375円	3,064円	-23.09ドル
	8月	2,336円	-208円	1,080円	1,421円	1,420円	4,761円	3,714円	-26.30ドル
	9月	2,248円	-5円	1,179円	1,421円	1,430円	4,190円	2,734円	-23.61ドル
	10月	2,674円	-179円	1,233円	1,492円	1,182円	4,761円	3,666円	-29.39ドル
	11月	2,391円	-157円	1,082円	1,221円	1,145円	3,904円	3,722円	-25.51ドル
	12月	3,386円	275円	1,254円	1,615円	1,467円	4,521円	4,158円	-28.41ドル
	計	26,089円	-1,472円	11,116円	16,626円	15,868円	56,971円	38,176円	-310.31ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

## 【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
政策金利	2018年7月	-0.10	2.00	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	17.75
	2018年8月	-0.10	2.00	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	17.75
	2018年9月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	24.00
	2018年10月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.50	24.00
	2018年11月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2018年12月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
失業率	2018年6月	2.4	4.0	8.3	2.5	5.4	4.5	2.6	6.0	27.2	10.2
	2018年7月	2.5	3.9	8.2	2.5	5.3	3.9	2.6	5.8	27.5	10.8
	2018年8月	2.4	3.9	8.1	2.6	5.3	3.9	2.6	6.0	27.5	11.1
	2018年9月	2.3	3.7	8.1	2.6	5.0	3.9	2.4	5.9	27.5	11.4
	2018年10月	2.4	3.7	8.1	2.7	5.0	-	2.4	5.8	-	-
	2018年11月	2.5	3.7	-	2.8	5.1	-	2.5	5.6	-	-
GDP	2017年 1Q	1.0	1.2	2.1	2.1	1.7	2.5	3.7	0.4	1.0	5.0
	2017年 2Q	2.5	3.1	2.4	1.9	1.8	2.5	4.5	0.3	1.3	5.1
	2017年 3Q	2.5	3.2	2.6	1.7	2.8	2.7	1.7	0.2	0.8	11.1
	2018年 1Q	-0.6	2.2	2.5	1.2	3.1	2.7	1.3	0.3	0.8	7.4
	2018年 2Q	3.0	4.2	2.2	1.3	3.4	2.8	2.9	0.0	0.4	5.2
	2018年 3Q	-1.2	3.5	1.7	1.5	2.8	3.0	2.0	-	1.1	1.6
10年国債	2018年7月	0.062	2.960	0.443	1.330	2.650	2.759	-0.011	2.310	8.590	17.590
	2018年8月	0.107	2.860	0.326	1.427	2.519	2.535	-0.095	2.228	8.980	20.660
	2018年9月	0.130	3.061	0.470	1.573	2.668	2.613	0.039	2.427	9.000	20.030
	2018年10月	0.136	3.144	0.413	1.464	2.646	2.595	0.005	2.507	9.375	18.000
	2018年11月	0.092	2.987	0.300	1.437	2.646	2.592	-0.105	2.236	8.940	16.080
	2018年12月	0.026	2.691	0.246	1.269	2.322	2.393	-0.168	1.965	8.885	15.830

### 【免責事項】

- カネツFX証券(株)は、本情報に記載の情報は、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはカネツFX証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のカネツFX証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。  
【総合コース:1枚あたり片道1,080円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,080円のうち756円が媒介手数料となります】  
【インターネットコース:1枚あたり片道216円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は216円のうち108円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり30,000円～60,000円(2018年11月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

### 【編集・発行】

カネツFX証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@kanetsufx.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員